



竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

## 「秋」

9月のいわゆる中秋の名月は一年で一番美しいと言われています。今年の中秋の名月は、スーパームーンと言って地球に一番接近していたため通常より大きく見えたんだそうです。ホントに大きくて明るかったですね。その日夕食を食べているとき窓越しに大きな明るいお月様が昇ったところでした。寝ようと電気を消したら外が明るいのでカーテンを開けたらお月様が見えました。

秋には紅葉という美しいものがありますね。緑だった葉っぱが赤や黄色に綺麗に染まります。紅葉狩りといって紅葉を求めて愛でる風習もあります。でもこの美しく紅葉した葉っぱを惜しげもなく全部落としていきますね。ずーと付いていたら綺麗なままなのに！落ち葉の掃除もしなくて良いのに・・

人間は今まで築いてきたもの、身に着けてきたものに執着して放したがないですね。綺麗に染まった葉を惜しげもなく落とすようにこの世で身に付けたものを放せたらすすきりできるんでしょうが・・なかなかできません。これは修行をさせられてるんでしょうね。

法然上人が

『月影の至らぬ里はなけれどもながむる人の心にぞ住む』

というお歌を詠まれています。

月の光はどこにいる誰のところにも届いています。それと同じように阿弥陀様のみ心も誰のところにも届いているんですよ。と教えてくださっています。



徳島 称念寺住職

渡辺恵照

## ケアハウス入居者受付中!



ケアハウス竜雲は現在満室ですが随時入居者を受け付けております。見学、ご相談等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

担当…福田  
TEL : 087-888-5800

## ボランティア募集!

空いている時間にボランティアをしてみませんか? 利用者様とのお話、クラブ活動のお手伝い、お掃除など…皆さんの趣味や特技を活かして下さい。

興味のある方、お電話をお待ちしています。

担当…三宅  
TEL:087-888-5800

## ◆地域交流ホールご利用の案内◆

ケアハウス竜雲内にある地域交流ホールは、会議、会合、クラブ活動、同好会などにご利用できます。



担当…三宅  
TEL:087-888-5800

社会福祉法人竜雲学園

## 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム  
ショートステイサービス  
ホームヘルプサービス  
デイサービス  
老人介護支援センター  
ケアハウス



共同募金  
受配施設

〒761-8078  
高松市仏生山町甲 3100 番地 2  
TEL:087-888-5800  
FAX:087-889-1004



## “イベント紹介”

### 『家族会』

苑長代理 川原 江美



竜雲舜虹苑では、年に一度、敬老会の日に合わせ、家族会を開催しています。1時間程の短い時間の会ではありますが、毎回、15名程度の家族様に参加して頂いています。内容は、介護保険制度や舜虹苑の取り組みなど、その時に合った議題を職員間で話し合い決定しています。今年度の開催で16回を迎えましたが、今まで「介護保険改正」や「看取りケアの取り組み」について説明したり、作文を読んで感想を話し合ったりしました。どの会も皆様は、一生懸命話を聞いて頂き、多くの意見を頂いています。

今年度の家族会では、17名の参加を頂き「自立支援ケア」の取り組みについて、状況報告を行いました。基本となる、水分を取る事、形のある食事を食べる事、自然排便を促す事、歩行することなどを説明した後、骨折により歩行が難しくなった利用者様が、歩行ができるようになるまでの取り組みを報告させていただきました。家族様は、「家で、ここまで見ることは難しい。感謝しています。」「色々な取り組みをしていただいているがとうとうございます。」などと、温かい言葉をかけていただきました。

普段、利用者様個人の様子を家族様に伝える機

会はあっても、施設の取り組みをご家族様に伝える機会は、なかなかありません。この家族会は、家族様と職員の意見交換の場であり、職員は、今後よりよいケアを進めていこうと改めて思う場でもあります。もつと多くの家族様に参加して頂き、ご意見をいただけるような家族会となる様努めていきたいと思えます。

## クローズアップ！

### 舜虹苑 “特養”

#### 『ポジショニングについて』

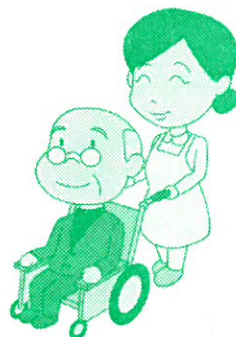
副主任 吉田知明紀



竜雲舜虹苑機能訓練の会では利用者様のポジショニング・シーティングに注目して日々ケアを行っています。

ポジショニングとは「生理的安寧、心理的安寧を提供するために、体の重さを預ける支持面を確保するクッションの当て方で、体位を保持すること」であり、動けないことによるさまざまな悪影響に対して予防策を立てることです。正しいポジショニングが行えていないときに起こりうる症状として拘縮や褥瘡があります。日中夜間ともにベッド上で過ごす時間の多い利用者様には身体が緊張していたり拘縮してきている方もおられます。ベッドに横になられた方に対して、身体の重みはどこに流れているのか、どこにどのように負担がかかっているのかを観察し拘縮の原因を探ります。

そして体重の流れをどのように変えれば身体の負担を取ることができているのかを考え、体重の流れを変えるためにクッションを敷き込みます。身体を中心部にしっかりとさみ込むことで頭部・上肢・下肢の体重をクッションで支えることができ、体幹への体重の流れを止めることができます。クッションに体重を乗せるよう少し圧をかける動作を入れると良いです。



シーティングとは日本語で「座位保持」という意味で車椅子などを使用して座らせる技術であります。車椅子を利用されている方には除圧クッションを使用し座位姿勢を整えています。車椅子上で身体が左に傾いたりした時はポジショニングと同様にどこに体重がかかっているのかを考え、体圧が分散されるようにクッションを敷いて対応しています。

利用者様が少しでも安楽な姿勢で過ごせる時間が増えるように日々のケアの中で姿勢に注目していきたいです。

介護のことでお困りありませんか？  
ささいなことでも結構です。お気軽にご相談ください。

竜雲舜虹苑老人介護支援センター

電話 889-1091

受付時間（平日8時30分～17時30分）